

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 健康長寿課
 担当名: 健康増進・食育担当
 内線: 3585 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B33	熱中症予防対策強化事業		一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	地域・職域連携推進事業費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	健康増進法第3条		宣言項目	02 健康・医療・介護の安心確保		
					分野施策	010204 生涯を通じた健康の確保		
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>熱中症のハイリスク者である高齢者等を対象とした草の根的な熱中症予防対策を行う市町村や企業と連携し、熱中症による救急搬送者数の減少と死亡者「ゼロ」を目指す。</p> <p>(1) 熱中症予防対策強化事業 △9,827千円 効果的な熱中症予防対策支援事業の市町村への補助金交付額、及び「まちのクールオアシス」ステッカーの発送数が当初見込みを下回ったことに伴う減額</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 熱中症予防対策強化事業 13,934千円</p> <p>(7) 効果的な熱中症予防対策支援事業 (12,610千円)</p> <p>(4) 熱中症予防啓発事業 (1,324千円)</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 熱中症予防対策強化事業</p> <p>(7) 効果的な熱中症予防対策支援事業 熱中症のハイリスク者である高齢者等を対象とした草の根的な熱中症予防対策等効果的な熱中症予防対策を行う市町村に対して、必要経費を補助することで、熱中症予防対策の更なる強化を図る。</p> <p>(4) 熱中症予防啓発事業 熱中症予防の啓発用ポスター等を作成し、県民の目に触れる所に掲示したり、各種イベントで熱中症予防を呼び掛けることで注意喚起を促す。</p> <p>(3) 事業効果 県内全域での啓発活動や草の根的な熱中症予防活動を強化することで、熱中症の発症や重症化を予防することで、熱中症による救急搬送者数・死亡者の減少を図る。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 学校や市町村、関係機関等の講習会開催にあたっては、健康づくりに関する包括協定を締結している大塚製薬株式会社に協力を依頼する。 また、県民（スーパー健康長寿サポーター等）の協力を得た啓発や、民間企業等の協力による「まちのクールオアシス」事業を実施する。</p> <p>(5) 補正予算の概要 効果的な熱中症予防支援事業補助金の市町村への補助金交付額、及び「まちのクールオアシス」ステッカーの発送数が当初見込みを下回ったことに伴う減額補正。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.7人=6,650千円								
			財 源 内 訳					
予算額							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△9,827						△9,827	4,107
現計額	13,934						13,934	